

# CEC

Computer Engineering & Consulting

株式会社 **シーイーシー**

## 第50期 報告書

自 2017年2月1日 至 2018年1月31日

# 50th

おかげさまで50周年

証券コード：9692

株主の皆様へ

## 営業利益は過去最高を更新、高い事業効率モデルの実現に向けて、さらなる事業構造改革を推進いたします。

株主の皆様には、日ごろより温かいご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

ここに当社グループ第50期（2017年2月1日～2018年1月31日）の事業概況等をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、引き続き緩やかな回復基調で推移しておりますが、米国および欧州連合（EU）諸国の今後の政治・経済動向や中国・新興国経済の成長鈍化懸念、中東・東アジアの地政学的リスクなど、世界経済全体では依然として不透明な状況であります。

情報サービス産業においては、企業の課題を解決し成長を支援するICTサービスの創出と、これらの需要に対応するICT技術者の採用・育成がますます重要になっております。

このような情勢のなか、当社グループは3か年の中期経営計画「INTEGRATE（インテグレート）」が当期で最終年度をむかえ、その基本方針である「特徴ある事業モデル」に転換し、事業効率の高いビジネスを創り上げるという目標を達成するため、グループの総力をあげて課題に取り組んでまいりました。

しかしながら、当期は開始直後に不採算プロジェクトが発生、業績の面では第1四半期には将来発生が見込まれる原価の引当を実施したため、非常に厳しいスタートとなりました。株主の皆様には大変ご心配をおかけしましたが、第2四半期以降は当初の計画通り推移し、第1四半期の出遅れもある程度挽回することができました。注力事業であるスマートファクトリー事業については、工場自動化や生産性向上に寄与する工場IoTプラットフォーム製品「Facteye®（ファクティエ）」の機能を充実し、複数メーカーの新旧設備が混在する環境においてデータ取得・分析が可能となりました。また、もう一つの注力事業であるセキュリティサービス事業については、中小企業向けの新サービス「かんたんeセキュリティ」の提供を開始したほか、オフィスセキュリティソリューション「SmartSESAME®（スマートセサミ）」シリーズの自治体向け統合ログ管理や多様な印刷環

境下でのセキュアな印刷基盤の実現など、ビジネスパートナーとの連携強化によってさらなる機能拡充を行ってまいりました。さらに、働き方改革を支援する新サービス「WorkStyle suite™（ワークスタイル スイート）」を発表し、今後の事業拡大に向けた準備を行ってまいりました。

その結果、当期の業績は、売上高は459億9千4百万円（前期比4.6%増）、営業利益は37億4千8百万円（前期比13.2%増）、経常利益は38億1千9百万円（前期比11.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は26億4百万円（前期比0.3%減）となりました。

期末配当につきましては、最近の業績、財務状況および将来の事業展開などを総合的に考慮しまして、1株につき20円（中間配当を含めた年間配当は40円）とさせていただきます。また、当社は2018年2月24日をもちまして、創立50周年を迎えました。株主の皆様のご支援にお応えするため、第51期の配当につきましては記念配当を実施させていただく予定でございます。

今後とも株主の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

岩崎 宏達



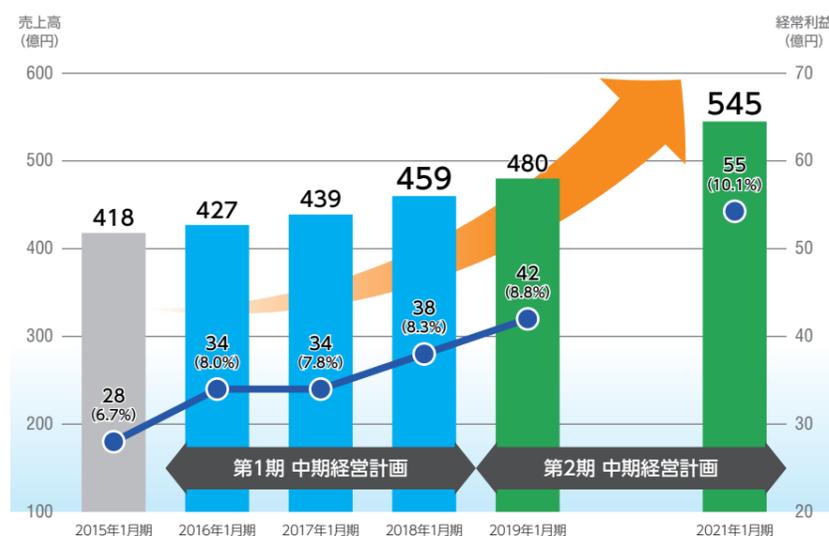
代表取締役社長

田原 富士夫

# 事業効率の向上と規模の拡大を図り、 特定事業分野で際立つ企業を目指します。

## 第2期中期経営計画のコンセプトは「PROMINENT (プロミネント)」

当社グループは、2018年1月期までの3か年を対象とした中期経営計画「INTEGRATE」を推進することにより、事業構造の改革と事業効率の改善に取り組んでまいりました。さらに2019年1月期から2021年1月期の3か年は、第2期中期経営計画「PROMINENT (プロミネント)」を推進し、注力事業の強化により事業効率のさらなる改善を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。初年度である2019年1月期の見通しといたしましては、連結売上高480億円、連結経常利益42億円を見込んでおります。最終年度の2021年1月期における事業目標は過去最高の連結売上高545億円、連結経常利益55億円(同率10%超)に設定いたしました。なお、ROEにつきましては最終年度12%超を目指します。



## PROMINENT (第2期 中期経営計画)

2021年1月期 (53期)

連結売上高 545億円

連結経常利益 55億円  
(同率) (10%超)

ROE 12%超

## 人、技術、商品・サービスが際立ち、会社全体が社会で際立つ存在になる



## 第2期中期経営計画「PROMINENT」のポイント

### POINT 1 「エクセレントカンパニー」と評価される企業を目指す

第2期中期経営計画「PROMINENT」は、さらなる事業効率の向上を推進し、「グッドカンパニー」を目指しつつ事業規模の拡大を図り、将来「エクセレントカンパニー」と評価される企業になるための第一歩と考えております。

2016年1月期 2017年1月期 2018年1月期 2019年1月期 2020年1月期 2021年1月期  
成長戦略の対象期間 第48期～第53期までの6か年



### POINT 2 強みをより強く、徹底的に強く

成長戦略のテーマは「変革と成長の加速」と設定し、2つのステージ計6年間の中期経営計画を通して取り組んでおります。第2期中期経営計画「PROMINENT」では、当社の持つ強みを徹底的に伸ばします。

#### 当社の持つ強み

- ▶ リーディングカンパニーとの長期取引による強力な顧客基盤
- ▶ 製造業向けにICT製品を継続的に市場投入
- ▶ ICTサービス全般を手掛ける総合力
- ▶ お客様視点での最適なインテグレーションを行なうことができる独立系事業者

### POINT 3 特定の事業分野で際立つ企業を目指す

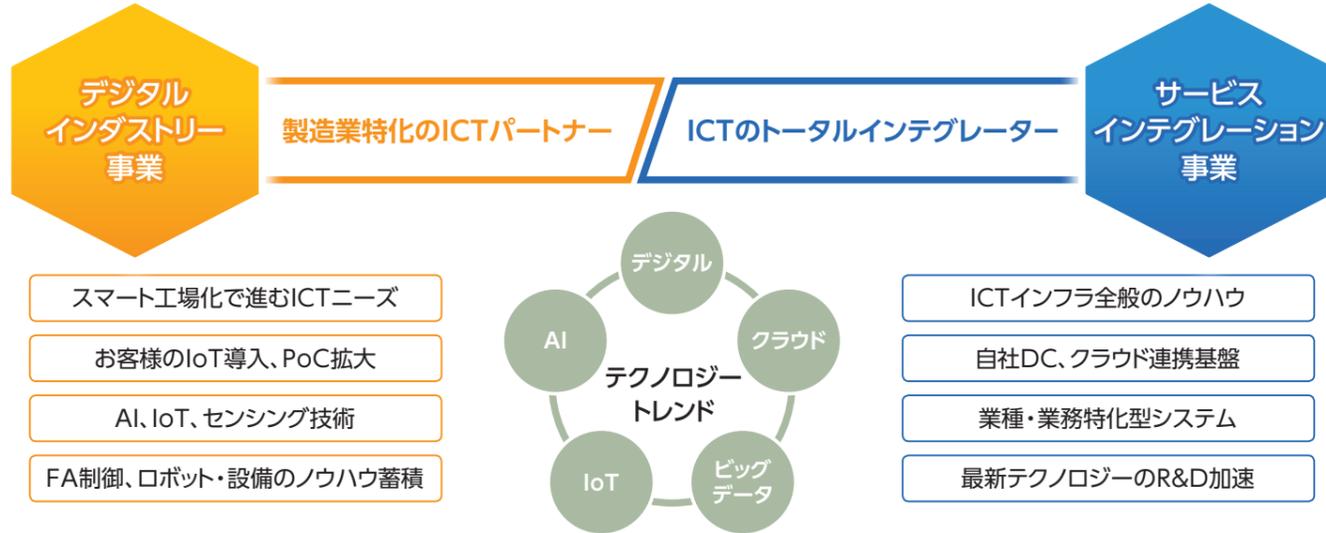
第2期中期経営計画「PROMINENT」では、第1期中期経営計画「INTEGRATE」で構築した事業モデルを引継ぎつつ、事業効率のさらなる改善と事業規模拡大を目指します。

#### 第2期中期経営計画「PROMINENT」の基本方針

- ▶ 事業効率のさらなる向上(営業利益率・経常利益率10%超)
- ▶ 事業を2つのグループに集約し、特徴ある事業として際立たせる
- ▶ 注力事業に対してはM&Aを積極的に推進し、事業拡大の加速を狙う
- ▶ 優秀なIT技術者の確保と維持

## 強みを際立たせる2つのビジネスグループ

当社の持つ強みの一つは、自動車産業やロボット産業、プリンター産業など、日本を代表する大手組立製造業のお客様との長年にわたる取引と、そこで培ったノウハウを持っていることです。もう一つは、データセンター事業を含む、情報システムのライフサイクル全体を支援できる事業内容、組織体制、人材を持っているということです。この強みをもとに、2018年2月、3つの事業セグメントを2つのセグメントに集約いたしました。



## デジタルインダストリービジネスグループ



### 事業方針

- ✓ 製造業のデジタル化を支援するICT製品・サービスを提供する
- ✓ 組立製造業を中心に、生産性/品質向上を実現するソフトウェア製品を企画・販売するとともに、それら製品を活用したSIサービスを提供する

### 事業目標

- ✓ 日本版インダストリー4.0実現の中核をなす存在となる
- ✓ 当社の製品・サービスなくして組立製造業の生産性/品質革新なしと言われるステータスを獲得する
- ✓ 大手製造業の主要顧客のICTパートナーNo.1の地位を獲得する

## サービスインテグレーションビジネスグループ

### 事業方針

- ✓ 特定分野のアプリ開発から、ICTインフラ構築・運用まで、情報システムのライフサイクルのすべてのプロセスに対するICTサービスを提供する
- ✓ データセンターも活用し、ICT全体のフルアウトソーシングを推進し、お客様企業のICTパートナーとして、長期的なストックビジネスの事業モデルを拡大する

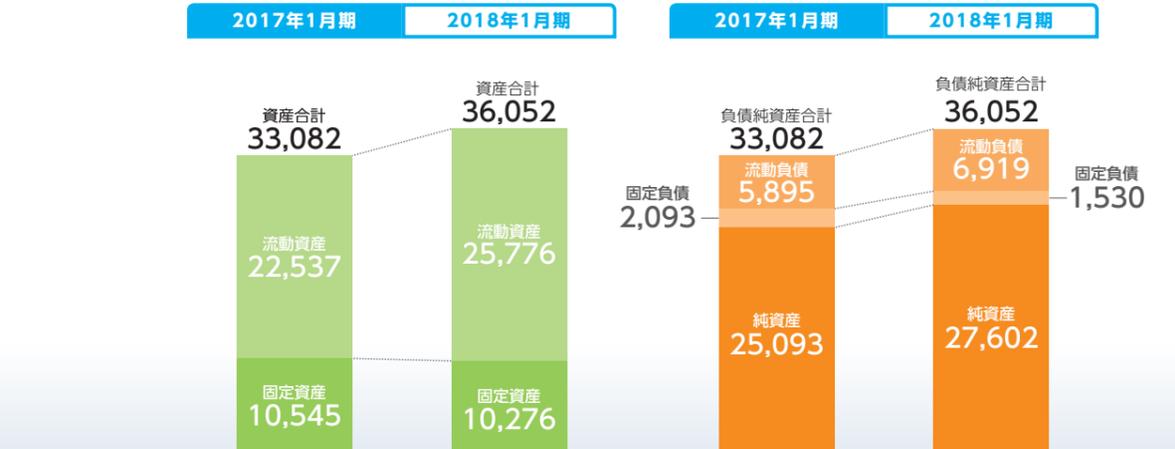
### 事業目標

- ✓ ICT基盤技術を常に探求し、最適なICTインフラ環境を構築できる技術チームを育成し続ける
- ✓ セキュリティサービス事業を徹底して事業推進し、成長事業に創り上げる
- ✓ 得意分野とする新たな特定市場を見出し、その分野のSIerとしてNo.1を目指す

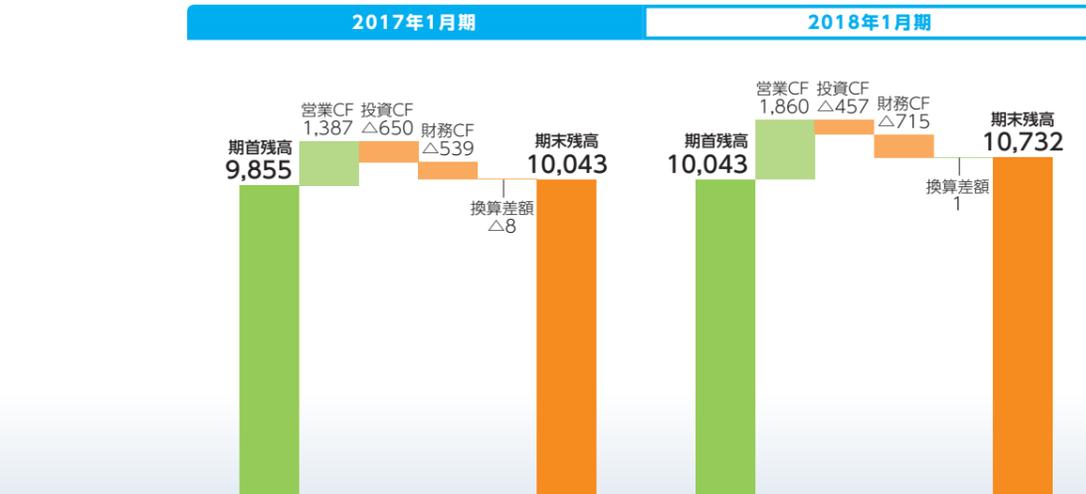
## 連結財務ハイライト (百万円)



## 連結貸借対照表の概要 (百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



# 2018年2月、当社は創立50周年を迎えました。

ひとえに株主の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。  
 シーイーシー50年のあゆみを振り返り、更なる成長を目指す新たな一歩を踏み出してまいります。

## 1968～ 1978～ 1988～ 1998～ 2008～ 2018～

IBM社がハードとソフトの分離販売「アンバンドリング」政策を打ち出す2年前、1968年2月に、資本金100万円、社員6名で株式会社コンピューターエンジニアーズを設立。1971年には名古屋に事業所を開設し、同年にトヨタ自動車販売株式会社（現・トヨタ自動車株式会社）、翌年にトヨタ自動車工業株式会社（現・トヨタ自動車株式会社）からの受注を得て、直接取引がスタート。また、1975年には宇宙開発プロジェクトに初参画、以降、多くの人工衛星打ち上げと運用に関与。

1978年、創立10周年を機にシステム開発に加え、提案力重視を徹底する意味をこめて、Computer Engineering & Consultingの頭文字をとって社名を株式会社シーイーシーに変更。同年、富士通株式会社からOSなどハードウェアの機能を直接制御するベシック・ソフトウェアの開発業務を受注、1980年代には同領域の開発関連セクション全てから発注を受けるほどに拡大。また、この年、汎用機向けパッケージの国内独占販売契約権を取得するなど、パッケージ・ソフトウェアの輸入販売事業に参入。

1990年には東京証券取引所第二部に上場。1990年台に入ってコンピューター業界は汎用機によるデータの集中制御から、ネオダマ（「ネットワーク」「オープンシステム」「ダウンサイジング」「マルチベンダー」または「マルチメディア」）と呼ばれる変革期を迎え、企業のIT導入が加速。この時期、1989年にはさがみ野システムラボラトリを開設、1996年にはネットワーク事業とサービス事業の拡大戦略を打ち出し、ストックビジネスの拡大を図る。

2001年には東京証券取引所第一部に上場。さがみ野システムラボラトリの設備拡充を図り、2002年には情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認定資格を取得、データセンターサービス事業の本格展開を開始。また、同年に開催されたFIFAワールドカップサッカー韓国／日本では、情報システムの設計・運用を担当、マルチベンダー環境下でのイベント成功に貢献。2004年には複合機プリンター向けに「SmartSESAME® SecurePrint！」を提供開始。

2008年には組立製造業を中心に生産現場の課題を解決するソリューションサービスを、「VR+R®」の名称でブランド化。以降、現在のスマートファクトリー事業の中核をなす自社開発の製品やサービスを中心に事業を展開。また、2015年2月スタートの第1期中期経営計画「INTEGRATE」では、競争力強化と事業効率の改善を目指し、セキュリティブランドの「Cyber NEXT®」やマイクロソフト連携ビジネス「Convergent®」など数多くの新製品・サービスを創出。

第2期中期経営計画「PROMINENT」を発表、前中期経営計画の事業モデルを引継ぎつつ、2018年2月に再編した新たな事業体制のもと、引き続き基本方針として掲げた特徴ある事業モデル創りに注力し、さらに事業効率の高いビジネスを目指す。



コンピューターセンターとシーイーシーの本社事務所のあった三恵比寿ビル



当時、国内独占販売契約権を取得した汎用機向けパッケージ・ソフトウェア



開発だけでなくITサービスの拠点となったさがみ野システムラボラトリ



東京証券取引所第一部に上場

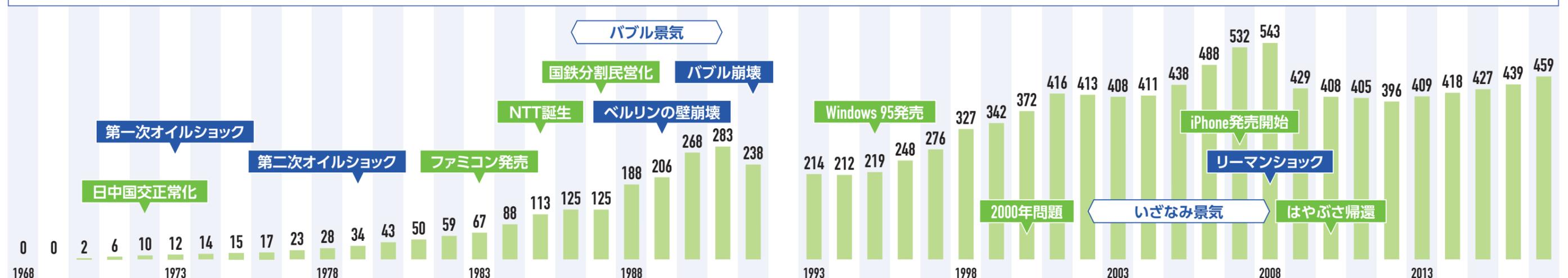


東京ビッグサイトで開催のイベントにて、VR+R®ブランド製品を出展



社内イベントにて、従業員に向けて50周年の挨拶とPROMINENTの紹介を行う田原社長

### これまでの売上高の推移(億円)



## 会社の概要 (2018年1月31日現在)

商号 株式会社 **シーイーシー**  
Computer Engineering & Consulting, Ltd.

設立 1968年2月24日

資本金 65億8千6百万円

従業員数 単体1,533名 / 連結2,245名  
(注)従業員数は有期契約社員を除いております。

### 主なグループ会社 (2018年4月18日現在)

| 社名                 | 事業内容                        |
|--------------------|-----------------------------|
| フォーサイトシステム株式会社     | システム開発、構築、保守ならびに運用サービス      |
| 株式会社イーセクター         | セキュリティソリューションサービスおよびパッケージ販売 |
| 株式会社シーイーシーカスタマサービス | システム構築、ICT導入支援および運用サービス     |
| 大分シーイーシー株式会社       | システム開発サービス                  |
| 希意禧(上海)情報システム有限公司  | パッケージ導入サービス                 |
| 株式会社コムスタッフ         | 人材派遣サービス                    |

### 役員および執行役員 (2018年4月18日現在)

|               |        |
|---------------|--------|
| 代表取締役会長       | 岩崎 宏達  |
| 代表取締役社長       | 田原 富士夫 |
| 専務取締役(専務執行役員) | 長田 一裕  |
| 常務取締役(常務執行役員) | 河野 十四郎 |
| 常務取締役(常務執行役員) | 立石 博   |
| 取締役(執行役員)     | 玉野 正人  |
| 取締役(執行役員)     | 大石 仁史  |
| 取締役(執行役員)     | 藤原 学   |
| 社外取締役         | 中山 眞   |
| 社外取締役         | 大塚 政彦  |
| 常勤監査役         | 小田 恭裕  |
| 社外監査役         | 仲谷 栄一郎 |
| 社外監査役         | 廣瀬 治彦  |
| 執行役員          | 江上 太   |
| 執行役員          | 姫野 貴   |

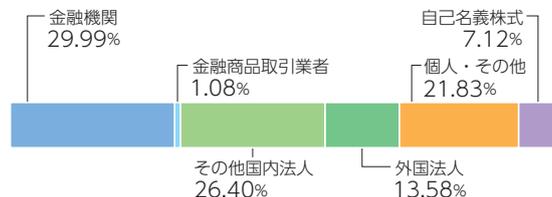
## 株式の状況 (2018年1月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株

発行済株式総数 18,800,000株

株主数 3,024名

### 所有者別株式分布状況



### 大株主

| 株主名  | 持株数(株)    | 持株比率(%) |
|--|-----------|---------|
| 1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)  | 2,582,300 | 14.79   |
| 2 ミツワ株式会社  | 2,223,600 | 12.73   |
| 3 富士通株式会社  | 1,680,000 | 9.62    |
| 4 シーイーシー従業員持株会   | 818,400   | 4.68    |
| 5 BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS | 740,000   | 4.23    |
| 6 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)  | 729,500   | 4.17    |
| 7 岩崎宏達   | 563,200   | 3.22    |
| 8 日本フォーサイト電子株式会社   | 465,480   | 2.66    |
| 9 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)  | 359,400   | 2.05    |
| 10 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)  | 222,500   | 1.27    |

(注)持株比率は、自己株式(1,338,047株)を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度 2月1日～翌年1月31日

期末配当金  
受領株主確定日 1月31日

中間配当金  
受領株主確定日 7月31日

定時株主総会 毎年4月

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
TEL 0120-782-031 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部(証券コード9692)

公告方法 電子公告 公告掲載URL <http://www.cec-ltd.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南一丁目5番5号 JR恵比寿ビル  
TEL.03-5789-2441(代表)  
記載の会社名および商品名等は、一般に各社の商標、または登録商標です。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

